

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	鳥取県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

米子市立後藤ヶ丘中学校 (フロンティアスクール名)						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	7	5	7	1	20	33
生徒数	251	200	256	1	707	

研究の概要

1. 研究主題

学習者一人ひとりの学力向上を図る教育の創造 - 個に応じた学習指導の探究 -

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科 (選択した理由を記すこと)

1・2・3年生全教科 (全教科において学ぶ意欲の向上を目指すため) 1・2年生英語 (基礎・基本の定着を図るため) 2・3年生数学 (理解の程度に応じた指導の充実を図るため) 2・3年生選択全教科 (個性を生かす指導, 個に応じた指導の充実を図るため)

(2) 年次ごとの計画

平成十四年度

<p>テーマ</p> <p>個に応じた学習指導を展開するための校内研究体制の確立ならびに理論研究の推進</p> <p>研究の見通し (仮説)</p> <p>個に応じた学習指導を展開するための研究体制を確立し, 理論研究を推進することによって, 学習者一人ひとりの学力向上を図る研究の方向を具体化することができるのではないかと。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>内容: 研究主題の設定, 校内研究体制の確立, 理論研究</p> <p>方法: 研究の目的・方法の共通理解を図る校内研究会の実施</p> <p style="padding-left: 20px;">少人数指導の導入, 習熟度別指導の試行, 選択履修幅の拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">授業研究会の実施, 実践研究報告書の作成, 外部講師による理論研修会の実施</p>

平成十五年
度

テーマ

個に応じた学習指導の充実

研究の見通し（仮説）

個に応じた学習指導の充実を図ることによって、基礎・基本の定着を促し、学ぶ意欲を向上させることができるのではないか。

研究内容・方法

内容：各教科における実践研究の推進

方法：研究の目的・方法の共通理解を図る校内研究会の実施

少人数指導の充実，習熟度別指導の導入，選択教科内容の充実
授業研究会の実施，実践研究報告書の作成，外部講師による
理論研修会の実施，学力の向上を把握するための調査・テストの実施，研究成果の分析・公開

平成十六年
度

テーマ

個に応じた学習指導の探究

研究の見通し（仮説）

個に応じた学習指導を探究することによって、学ぶ意欲を高め、学習者一人ひとりの学力の向上を図ることができるのではないか。

研究の内容・方法

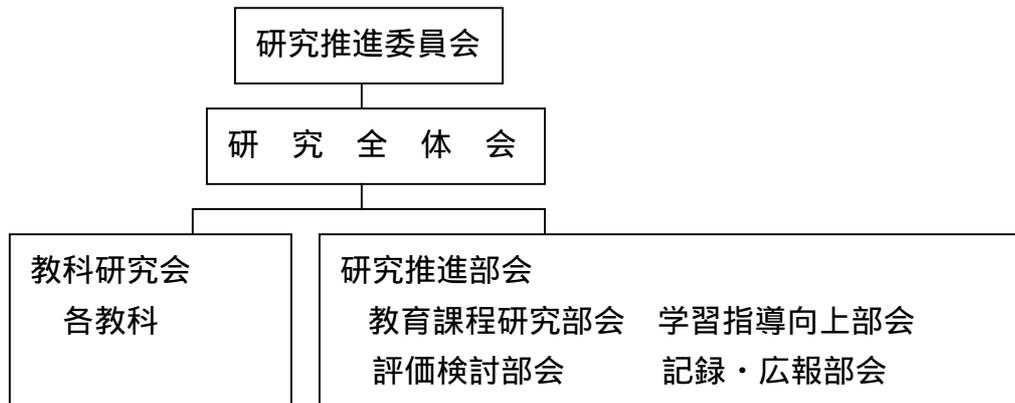
内容：各教科における実践研究の推進，研究成果の普及

方法：研究の目的・方法の共通理解を図る校内研究会の実施

少人数指導の充実，習熟度別指導の充実，選択教科内容の充実
授業研究会の実施，実践研究報告書の作成，外部講師による
理論研修会の実施，学力の向上を把握するための調査・テストの実施，研究成果の分析・まとめ・普及

(3) 研究推進体制

・ フロンティア事業に関する実践研究組織図



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

2年次の研究においては、1年次の研究成果と課題をふまえ、毎月1回各教科研究会を開催し、研究協議を重ねながら、実践研究を深めていくことができた。各教科において、研究の方向が明確になり、教科の特性を生かした個に応じた学習指導を展開することができた。その取り組みの一端を授業研究会において、地域の他校の先生方にも公開することができた。こうした取り組みによって、本年度の研究のねらいに掲げた「個に応じた学習指導の充実を図ることによって、基礎・基本の定着を促し、学ぶ意欲を向上させる。」ことができたという手応えを感じている。

研究成果は、次の9項目に整理することができる。

1. 研究の目的と方法の明確化
2. 校内研究体制の確立
3. 教育課程の工夫・改善
 - (1) 英語科における TT 指導の導入
 - (2) 数学科における習熟度別指導の導入（基礎・充実・発展コース）
 - (3) 選択履修幅の拡大
 - 基礎・発展それぞれ複数コースの開設（国・社・数・理・英）
 - 基礎コースにおける理解の程度を考慮したクラス編成（国・数・英）
 - 発展コースにおける複数コースの開設（保体・技家・音・美）
4. 個に応じた学習指導の充実を図るモデルの創出
5. 授業研究会の実施（4回）
 - (1) 全教科において実施（各教科研究会による事前・事後研究会の実施）
 - (2) 評価を生かした学習指導案に改善
 - (3) 指導助言者の招聘
 - (4) 授業研究会の公開
 - 米子市各中学校，西部地区フロンティアスクールに公開
 - 4回の授業研究会への他校参加者 69名
6. 実践研究発表及び実践研究報告書の作成（各教科研究会）
7. 外部講師による理論研修会の実施（2回）
8. 研究視察報告会の実施
9. 成果の普及
 - (1) 授業研究会，理論研究会の公開
 - (2) ホームページの開設

2. 今後の課題

- (1) 研究者との連携による理論並びに実践研究の継続
- (2) 個に応じた学習指導の充実を目指した授業研究会の開催
- (3) 3年間を見通した系統性の検討
- (4) 目標に準拠した評価の信頼性の検討
- (5) 学力向上の具体的な成果の把握

学力把握のための学校としての取り組み

- ・ 各教科における学力把握方法の工夫
- ・ 意識調査（学習意欲の変容をとらえるため，単元・学期のはじめとおわり）
- ・ 学習記録・自己評価カード（学習前後の認識の変容をとらえるため）
- ・ CRT（個の学力の変容をとらえるため，数学科，2回実施4月と2月）
- ・ 基礎学力調査（基礎学力の状況をとらえるため，1月，県教委主催）

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ 授業研究会4回，理論研究会2回の公開。
- ・ 次年度も授業研究会並びに理論研究会を公開の予定。
- ・ ホームページを開設。
- ・ 平成15年度研究主任研修（鳥取県教育センター主催）において実践発表。
- ・ 平成15年度西部地区学力向上推進協議会研修会において実践発表。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

該当する場所は で示す。

【新規校・継続校】	15年度からの新規校	14年度からの継続校		
【学校規模】	3学級以下	4～6学級		
	7～9学級	10～12学級		
	13～15学級	16学級以上		
【指導体制】	少人数指導	T・Tによる指導		
	その他			
【研究教科】	国語	社会	数学	理科
	外国語	音楽	美術	技術・家庭
	保健体育	その他		
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】		有	無	